-ドコモが9月市と株式会社 地方創生に関

技術(ICT)を活「ドコモの情報通信石真弓四国支社長は 組みを通じて、 しました。同社・立する連携協定を締結 組みを通じて、松山社会的課題への取り 用した、さまざまな

補正予算

月豪雨災害からの

復旧を最優先に

9272万円(前年同期比2・4) が増)となりました。 補正額は4億5694万円、累計は1867億

9月補正予算が定例市議会で決まり、一

一般会計

また、特別会計の補正額は2673万円です。なお、 企業会計の補正は債務負担行為の追加のみです。

9月

本市の地方創生を推し進めます。

圓企画戦略課☎級6943・**3**331804 す。このほかにも幅広い検討・協議を重 の未避難者を特定する実証実験を行う予定で

BLEタグと呼ばれる小さな発信機を活用

し、外国人観光客の行動分析や、避難訓練で

つ。具体的な取り組みとして、本年度中に、

市のお役に立てるよう尽力したい」とあいさ

ルドカップの事前合宿 回WBSC U-23ワー 中央公園を中心に第2 ヤイニーズ・タイ ムの皆さんが松山 Ú 23 野球代表

協定書に署名する立石四国支社長

総コーチは「松山市の もに来庁した林 宗毅 なかで順調に選手も練 気候は台湾と似てい すばらしい環境の

役所を訪問しました。 選手やスタッフとと 市

を行うのに合わせ、

JICA日系



国報告のため市が、9月27日、帰 た阿部善江さん ジルから帰国し え、6月にブラ 力隊の任期を終 社会青年海外協

役所を訪問しま

JICA海外協力隊阿部さん

2日、市保健所・消防合同

する「笑顔のまつやまり、

がまち工房」の報告会が10月 査・研究を行い、市長に提言

庁舎で行われました。「地域

市民が市職員と協働で調

バー19人が約4カ月にわた

る活動成果を発表しました。 支援」をテーマに、市民メン

力による高齢者のごみ出し

箸の持ち方などを指導。「日本から移民とし どもたちに会話授業を行ったほか、折り紙や 地の暮らしに溶け込むことができ楽しかっ て海外に渡った日本人や日系の人たちの現 阿部さんは、 現地の日本語学校で日系の子

週観光・国際交流課☎%6887・四%90 験を生かしたい」と抱負を語りました。

0

7月豪雨災害で、「全壊」の認定を受けた家屋などの撤去を支援していま 10月5日から支援を広げ、「大規模半壊」や「半壊」の認定を受けた家 屋などにも、本市が撤去する支援と、所有者が業者に委託し撤去した費用へ の支援を開始しました。

<mark>申請期間</mark> 平成31年2月1日 金まで

<mark>申し込み・問い合わせ</mark> 環境モデル都市推進課☎948-6797・<mark>™</mark>934-1861

【来庁などにより贈呈いただいた団体】(敬称略)

主な事業

去にも支援を行います。

援に加え、大規模半壊お る全壊家屋の撤去への支 け、すでに取り組んでい

よび半壊家屋の解体・撤

●道路・下水排水路・農道等整備事業

地域包括支援センター運営事業

がけ崩れによる災害の防

また、公共施設の復旧、

●保育所等防犯対策整備事業

空家対策推進事業

組みます。

市民の安全・安心の確保

保育施設の防犯カメラ

圓財政課☎%635

の措置を講じます。市単独公共事業にも所要

水路・農道の整備など、関連の深い道路・下水排

ます。また、市民生活に業のさらなる振興を図り

備に補助を行うなど、農

農産物処理加工施設の整 質生産に必要な資材や、

などの整備や、

倒壊の

評被害対策などにも取り

観光産業への風

33億2,026万円

6億7,267万円 3,583万円

1,953万円

1,738万円

1,605万円

7月豪雨災害からの復旧

被災者の生活再建に向

取り壊しに助成します。れがある危険な空き家の

地域経済の活性化

「紅まどんな」の高品

●豪雨災害復旧関連事業

●農業振興事業

<mark>義援金</mark> 市立道後中学校、熟田津クラブ、県立松山南高等学校平成元年卒同 高浜地区自主防災連合会、松山ホストライオンズクラブ、道後商店 街振興組合、国際ソロプチミスト松山、Lupo hair、㈱ミツワ都市開発 寄附金 松山衛生事業協同組合

※その他多くの方からお寄せいただきました(平成30年9月8日~10月5日分) **間**市民参画まちづくり課☎948-6814·**図**934-3157

リサイクルの収益金など

別カレンダーを地区ごとに

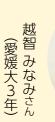
季節に合わせたごみ分

認証状を発行する。

また、

地域貢献活動の実績として 源ごみを回収し、学生には 難な高齢者宅を訪問して資

市政への興味が深まった



間タウンミーティング課

₩ 6333·**₩** 942336

く自ら考え提案すること なりました。受け身ではな ので、自信が持てるように も真剣に向き合ってくれたんが、学生の自分の意見に で、市政への興味がより深 まりました。

民メンバーや市職員の皆さ に抵抗がありましたが、市 初めは年上の人との議論

パーなどがごみ出し困難な からのごみ出しを可能に 高齢者を支援しやすい環境 し、親戚や近所の人、ヘル クスを設置することで前日 の敷地などにごみ出しボッ ン、あるいは介護保険施設 地域のごみステーショ

のごみ出しを可能に

作成し、分別意識を高める。 |ボックス設置で前日から

と地区独自のごみカレンダー

資源ごみの訪問集団回収

大学生などがごみ出し困

特典を設けるなどして、 募り、サービスの協力者に 知する。また、協賛企業を

い世代の協力者を増やす。

ンや高齢クラブ、訪問介護 載するほか、いきいきサロ

事業所などから、サービス

が必要な高齢者へ内容を周

認知度を高めるため、ごみ

ごみ出し支援サービスの

人の周知と若い世代の協力者

|既存のごみ出し支援サービ

カレンダーなどに情報を掲

成果報告の様子

〜地域力による高齢者の ごみ出し支援策を提言~